



## 今年度の河川の整備について

観測史上最大の豪雨が九州各地を襲いました。近年九州はこの時期毎年のように豪雨に見舞われています。原因は梅雨前線に暖かく湿った空気が流れ込み次々と発生した積乱雲が強い雨を降らせる『線状降水帯』です。海と隣り合う九州の地形が影響し気温が上昇する梅雨時に生じやすいと言われています。

そして7月4日未明、記録的な豪雨は『線状降水帯』により大量の雨を降らせ人吉市や球磨村などでは球磨川が氾濫、多くの尊い命が奪われ、住宅、農地、山林や公共物等に甚大な被害が生じました。その後も梅雨前線は北上し、6〜8日未明には山鹿市や小国町、南関町などの県北地域にも被害が及びました。

私たちの想定を超える豪雨災害が全国各地で相次ぎ、国交省も従前のようなダムや堤防だけに頼るのではなく、流域のあらゆる力を集めた防災・減災の新たな指針『流域治水』を打ち出しました。詳細は今後議論を踏まえて実行されますが、同時に身近な河川の整備状況も気になります。そこで今年度の整備予定やこれまででの経緯と今後の計画について簡潔にお知らせします。

### 富合町

#### ① 潤川

南田尻地区の新橋付近の川幅が狭く流れを阻害しているため橋の架け替えのための迂回路を整備。その後、新しい橋の工事に着手する予定です。なお別途宇土市部分における川のバイパス工事も着手します。



#### ② 木原川（木原不動尊付近）

現在下流から整備しています。木原居屋敷1号橋の架け替え（現在ボーリング調査中）と上流拡幅のための準備中。環境が整い次第、橋は着手予定です。

#### ③ 浜戸川

廻江地区（3号線の東側）の土砂の掘削、樹木の伐採作業を10月くらいから着手予定です。



### 川尻校区 天明新川

橋の架け替え工事は既に完了し今後河川拡幅工事に着手します。鹿児島本線と近接しているのでJRに委託して今年度からおおよそ3年かけて工事を進めます。



# 旧天明新川 (ゆめタウン)

## 御幸木部バス停 について

旧天明新川とは出水7丁目のゆめタウン付近を上流に元三町の熊本農業高校付近で平成大通りの真ん中を流れる天明新川と合流する川のことです。

歴史を振り返っても旧天明新川流域は加瀬川と白川に囲まれた低平地で地形に勾配がないことから比較的小規模の雨量でも浸水被害が発生していました。また川自体、中央病院以南は昔ながらの改修もできていない状態がかつ蛇行しており、大雨の際、元三町の排水機場までスムーズに水が流れずゆめタウン周辺や田井島、良町、御幸木部等の途中地域で溢れているのが現状です。さらに以前と比べて宅地や店舗、事業所が増えたことで水の逃げ場がないことや、昨今の気候変動による豪雨が輪をかけています。

# 河川改修は下流から

## 上流へが原則

です。なぜなら河口に近い下流域の流量が変わらないのに上流域を整備して流量が大きくなれば下流域で水が溢れるからです。旧天明新川は上記のように天明新川と合流して天明町で緑川に注ぐため、これまで川幅の拡幅や堤防の築造、川底の掘り下げなどを下流域から順次進めてきました。

先人の皆様、自治体及び多くの関係者のご尽力もあり、現在では桜十字病院南側の堰の改良、川幅の拡幅も終え、今後条件が整い次第、木部橋(木部バス停手前)の架け替え、木部橋を起点に上流方向へ河川や堰の改修に取り組んでまいります。

過去に例を見ない、予測できない豪雨が相次ぎ災害は大規模化しています。今後台風時期も迎えますが、常に最新の情報を入手して早めの行動をとることが求められます。

